

事例及び文献調査結果の中間報告

平成30年12月20日

1 . 事例調査結果の中間報告

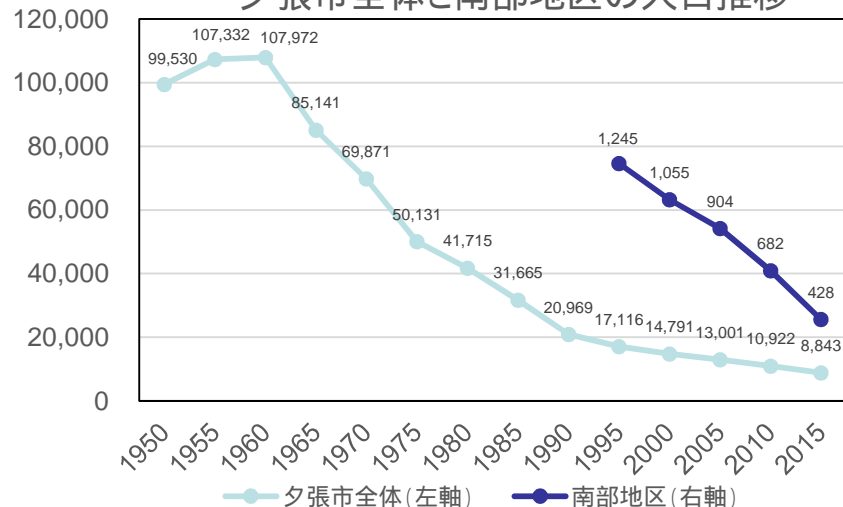
事例調査箇所(現時点)一覧

| 市町村及び集落名 | 市町村の概要 | 集落の特徴 | 調査ポイント |
|--------------------------|---|--|-------------------------|
| 北海道夕張市 南部地区ほか | 戦後炭鉱で働くため人口が急激に増加したが、炭鉱の閉鎖により人口が急減。 | 南部地区は、現在人口401人。 大量の炭鉱住宅跡地や、個人宅の空き屋が多数存在。 | 宅地 (集合住宅) |
| 長野県大町市 八坂地区 | 黒部ダム・黒部川第四発電所の建設を背景に、昭和35年に人口のピークを迎えたが、現在は人口が減少が加速。 | 八坂地区は、平成18年に大町市と合併。現在人口850人。 昭和50年代の集落の移転事業により交通が不便な山間地から主要道沿いへ複数移転が行われた。 | 無住化集落 (集落跡地荒廃) |
| 埼玉県鳩山町 鳩山ニュータウン地区 | 首都50km圏内に位置し、元々純農村地帯であったが、鳩山ニュータウンの入居開始とともに急激な都市化が進展。現在は人口が減少している。 | 鳩山ニュータウン地区は、東京都のベッドタウンとして1970年代に開発され、現在人口は7,155人で、高齢化率が50%を超えている。 町全体の空き家211件のうち、半分以上がニュータウン内に存在。 | 宅地 (戸建て分譲地) |
| 山梨県大月市 大月地区及び 猿橋地区 | 主力産業の繊維工業と林業の衰退、鉄道・高速道路等の交通網の発達により、人口が流出。 約9割が森林であり、まとまった土地が少ない。 | 新興住宅地を除き、空き家がまんべんなく発生。 農地の荒廃もモザイク状に発生。 | 東京近郊の山間人口減少集落(農地、宅地、森林) |
| (参考) 伊豆市 長野市 | 第9回国土管理専門委員会資料4 - 3参照 <small>同資料中、A市が伊豆市、B市が長野市</small> | | 人口減少集落(農地、宅地、森林) |

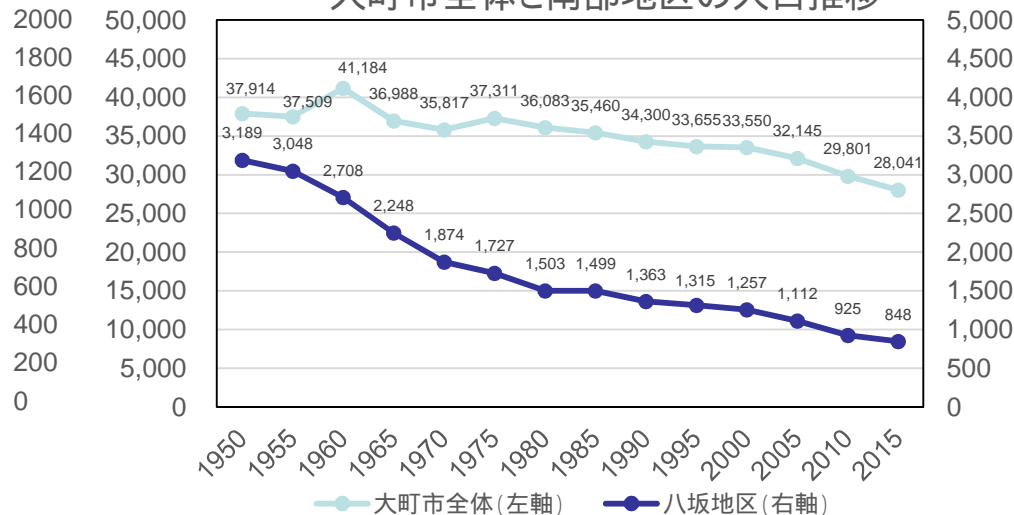
各市町村及び集落の人口の推移は、次ページを参照

事例調査箇所(現時点)の人口の推移(国勢調査より)

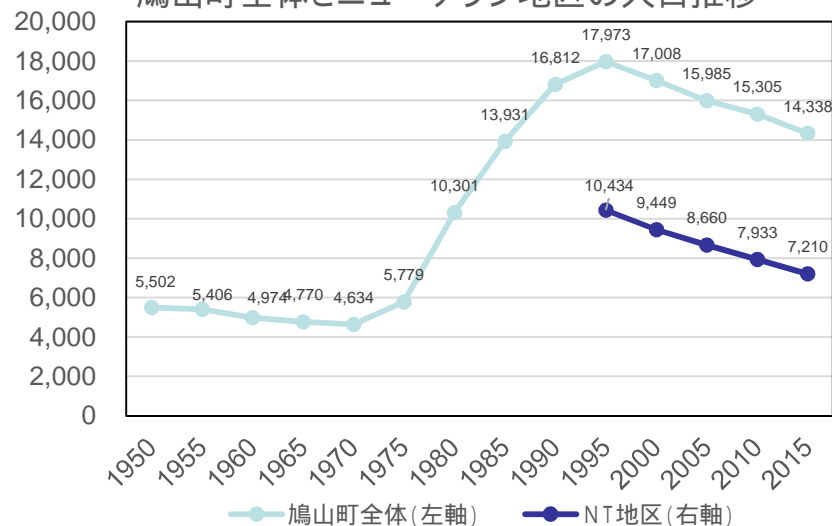
夕張市全体と南部地区の人口推移



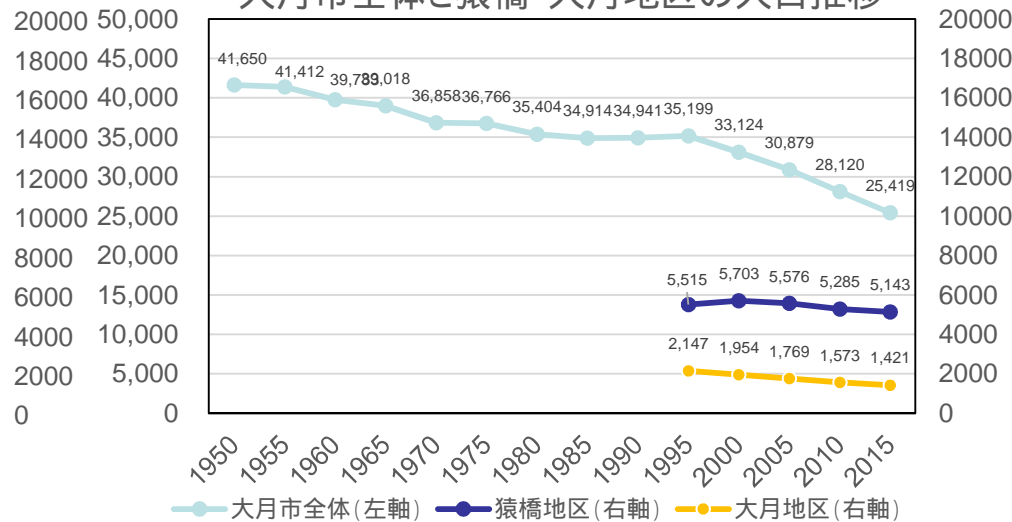
大町市全体と南部地区の人口推移



鳩山町全体とニュータウン地区の人口推移



大月市全体と猿橋・大月地区の人口推移



それぞれの事例調査で把握した外部不経済の全体像

| | 管理放棄農地 ¹ | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 (空き家・空き地) | その他(因果関係が不明確なものを含む) |
|-------|--|---|---|-------------------------|
| 共生自然 | | | | |
| 防災減災 | 道路通行の危険リスク(大月市) | 土砂災害の懸念(大町市) 水源涵養機能の低下(大月市) 斜面崩壊(大月市) 宅地への動物の出没(大月市) | 道路管理上の問題(夕張市、鳩山町) 倒壊リスク(大町市、伊豆市) 空き家への動物の棲みつき(鳩山町、大月市) スズメバチの巣の発生(大月市) | クマ出没(大町市) |
| 地域づくり | 耕作意欲が減退(大町市、大月市) | 竹の侵食による景観の悪化、観光への影響(伊豆市) | 景観の悪化、観光への影響(夕張市、大町市、伊豆市) 盗難被害(その他に特段の外部不経済は生じていない)(大町市) 全住民が移転して無住化した集落 木の根が配管に突き刺さる(鳩山町) 町全体のイメージダウン(鳩山町) ゴミ投棄による生活環境悪化(伊豆市) | |
| 備考 | 農地荒廃、集落無住化と獣害拡大の関係性は不明(大町市) 山林に囲まれた農地は外部不経済はない(大月市) 鳥獣害対策のためだけに棚田を管理するのはコストに見合わない(長野市) | 管理放棄と集落の無住化との関係性は不明(大町市) 管理放棄森林の外部不経済の実態把握はできていない(大月市) | 空き地(炭鉱住宅跡地)で特段の外部不経済は生じていない(夕張市) 無住化した集落でも道路の継続管理を行っている(大町市) | 外部不経済の把握は、市民からの苦情等(大月市) |

1:耕作放棄地等の管理されない農地

注:自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

注:外部不経済の発生要因に着目して整理しており、例えば森林の管理放棄により農地への外部不経済が発生している場合も、管理放棄森林の項目に分類して整理している。

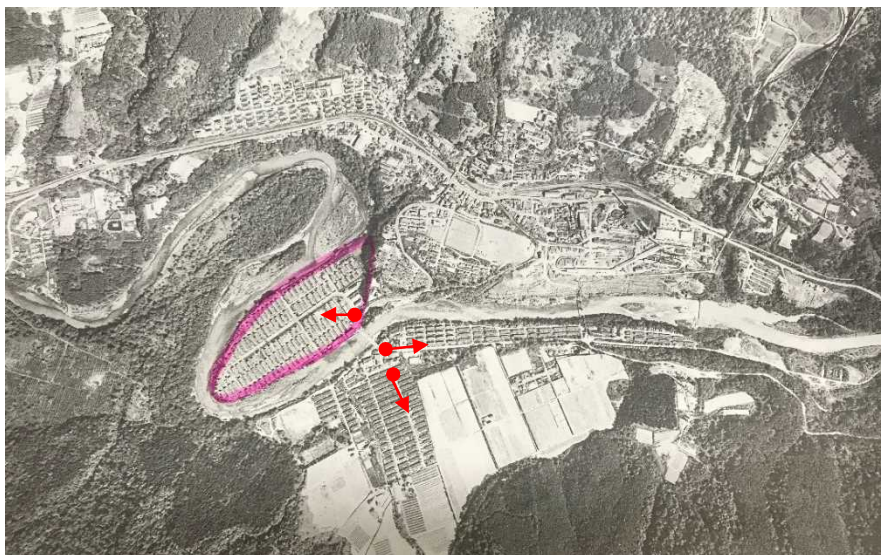
| | 管理放棄農地 ¹ | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 (空き家・空き地) | その他(因果関係 が不明確なもの を含む) |
|-------|---|--|---|-----------------------------|
| 共生自然 | ・特になし | ・特になし | ・特になし | ・特になし |
| 防災減災 | ・特になし | ・特になし | ・倒壊寸前の空き屋が、道路脇にあり、 道路管理上の問題 が生じている(写真1)。 | ・特になし |
| 地域づくり | ・特になし | ・特になし | ・倒壊寸前の空き屋や、取り壊した家の瓦礫をそのまま放置している事例が至るところにあり、 景観上の悪影響 が生じている | ・特になし |
| 備考 | ・農家のほとんどがメロン農家であるが、農家戸数は年々減少。加工用メロンの栽培など新しい活用を実施。 | ・市域の9割が森林であるが、そのうち9割が国有林、残りの1割も公有林(北海道、市)が大部分を占めており、継続的な森林整備がされていることから、管理放棄の森林は少ない。 ・ただし、エゾシカの生息密度は増えてきている。 | ・市で所有している大量の空き地(旧市営住宅跡地)について、取り壊し後に利用せず、 原野として存置又は、そのまま山林に戻しているが、特段の外部不経済は生じていない (写真2、3)。 ・使われなくなった土地が、自然に返され、原野化又は、山林化することは住民に受け入れられる。 | ・特になし |

1:耕作放棄地等の管理されない農地

注:自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

注:外部不経済の発生要因に着目して整理しており、例えば森林の管理放棄により農地への外部不経済が発生している場合も、管理放棄森林の項目に分類して整理している。

注:管理放棄宅地については、夕張市南部地区を念頭に、管理放棄農地・森林については、夕張市全域を念頭に、それぞれ記載している。



航空写真:炭鉱最盛期の夕張市南部地区



写真1:道路沿いで放置された空き屋



写真2:炭鉱住宅跡地(空き地:原野)



写真3:炭鉱住宅跡地(空き地:森林化)

長野県大町市の事例調査で把握した外部不経済の詳細

| | 管理放棄農地 1 | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 (空き家・空き地) | その他(因果関係が不明確なものを含む) |
|-------|---|--|--|--------------------------------|
| 共生自然 | ・特になし | ・特になし | ・特になし | ・特になし |
| 防災減災 | ・特になし | ・想定外の豪雨が増えており、市では森林荒廃による <u>土砂災害</u> 等を懸念。 | ・道路、トレッキングコース脇の空き家放置により、 <u>倒壊リスクが増加</u> (写真1)。 | ・市街地内農地の作物を目当てに <u>クマが出没</u> 。 |
| 地域づくり | ・農地の荒廃により周辺農地での耕作意欲が <u>減退</u> (写真2)。 | ・特になし | ・道路、トレッキングコース脇の空き家放置により、 <u>景観悪化</u> (写真1)。 ・全住民が移転して無住化した集落では、移転先まで0.7km以上離れ、 <u>特段の外部不経済は生じていないものの、移転先に持ち込めない家財を移転元の家屋にそのまま存置しており、盗難被害が発生</u> 。 | ・特になし |
| 備考 | ・ <u>農地の荒廃、集落無住化と獣害拡大の時期が大きく異なり関係性は不明</u> 。 | ・集落との距離に関わらず管理放棄されており、 <u>集落の無住化との関係性は不明</u> 。 | ・無住化した集落であっても、墓に <u>続く道路の継続管理を行っている</u> (写真3)。 | ・特になし |

1: 耕作放棄地等の管理されない農地

注: 自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

注: 外部不経済の発生要因に着目して整理しており、例えば森林の管理放棄により農地への外部不経済が発生している場合も、管理放棄森林の項目に分類して整理している。



大町市八坂地区における写真の位置図



写真1: 道路に隣接する荒廃空き家(下上籠)

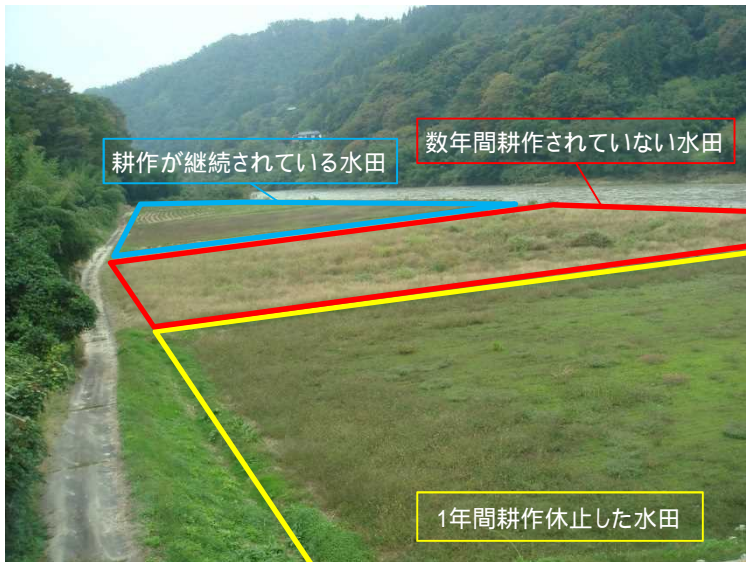


写真2: 耕作の継続と休止が隣接する農地(大八橋西側)



写真3: 山中にある墓地(地志原)

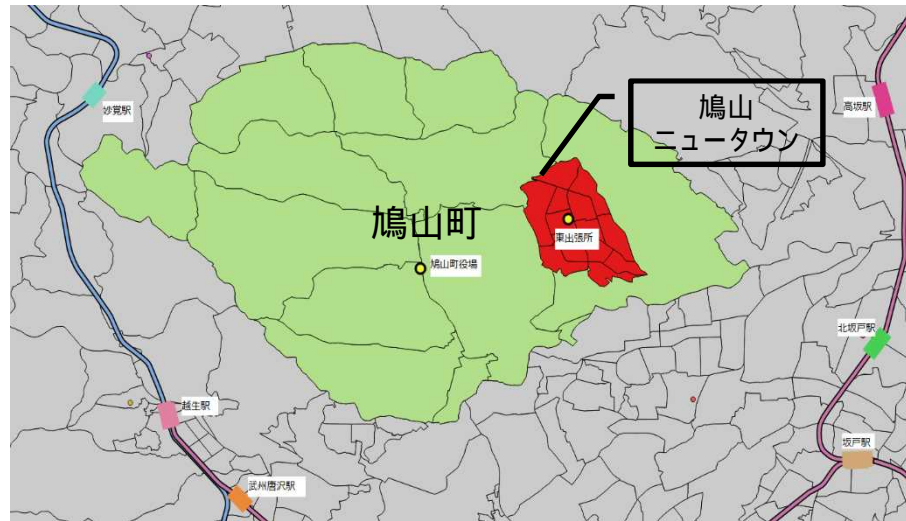
埼玉県鳩山町の事例調査で把握した外部不経済の詳細

| | 管理放棄農地 1 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 (空き家・空き地) | その他(因果関係 が不明確なものを 含む) |
|-----------------------|--------------------|---|--|
| 共 自 生 然 | ・調査対象外 | ・特になし | ・特になし |
| 防 災 減 災 | ・調査対象外 | <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に植樹されている植物が敷地外まで繁茂し、<u>道路管理等に支障が生じている(写真1)</u>。 宅地所有者が都内在住の場合、必要な管理等が行われず、一部が損傷している。損傷した軒裏などからハクビシン、タヌキなどの動物が入り、<u>棲みついている可能性(写真2)</u>。 | ・特になし。 |
| 地 域 づ く り | ・調査対象外 | <ul style="list-style-type: none"> 成長した木の根が隣の家の敷地内にある配管に突き刺さる<u>事案が発生</u>している。町より所有者に対応を依頼するも、適切な対応が行われていない(写真3)。 思い入れなどから家を残しておきたい所有者も多く、空き家のまま放置されている。空き家がクローズアップされることで、<u>ニュータウン全体のイメージが損なわれる</u>。 | ・特になし |
| 備 考 | ・調査対象外 | <ul style="list-style-type: none"> ニュータウン全体は綺麗に整備されており、繁茂した樹木などがあると目立つ。住民から町へ対応要請があることもある。 現在は町から所有者に適切な管理の要請等を行うことで、大きな外部不経済の発生は水際で抑制されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 土地の相続者全員が放棄の意思を示しているが、実際の手続きは行っていないケースがある。 |

1:耕作放棄地等の管理されない農地

注:自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

注外部不経済の発生要因に着目して整理しており、例えば森林の管理放棄により農地への外部不経済が発生している場合も、管理放棄森林の項目に分類して整理している。



鳩山ニュータウン位置図



写真1:道路沿いで放置された空き屋



写真2:軒裏からハクビシン等が進入している可能性がある。



写真3:樹木の根が隣の家の配管に突き刺さり、支障を来している。

山梨県大月市の事例調査で把握した外部不経済

| | 管理放棄農地 1 | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 (空き家・空き地) | その他(因果 関係が不明確 なものを含む) |
|-------|---|--|---|--|
| 共生自然 | ・特になし | ・特になし | ・特になし | ・特になし |
| 防災減災 | ・雑草繁茂により見通し悪化、 <u>道路通行する危険リスクが増加</u> 。 | ・管理が不足すると土壌が固くなり水源涵養機能が低下すると林家の意見がある。 ・近年 <u>斜面崩壊の被害</u> が増えている。 ・緩衝帯の減少に伴い <u>宅地へのイノシシ、シカの出没</u> が増えたとの考えがある。 | ・「 <u>スズメバチの巣</u> ができ危ない」、「草木が繁茂している」等の苦情が市に寄せられることがある。 ・ <u>空き家がアライグマやハクビシンのすみかになるおそれ</u> (写真1) | ・特になし |
| 地域づくり | ・自宅からアクセスの悪い農地から放棄され、モザイク状に荒廃、周辺農地での <u>耕作継続する意識の低下</u> を誘発 (写真2) | ・特になし | ・特になし | ・特になし |
| 備考 | ・ <u>山林に囲まれた農地の荒廃による外部不経済はない</u> 。 ・農業が主たる生業ではなく農地も小規模のため獣害があるものの把握できていない。 | ・ <u>管理放棄森林について</u> 、市民からの苦情が入ることは少なく、 <u>外部不経済の実態を把握することができていない</u> 。 | ・現在、倒壊する恐れのある空き家の解体は所有者が実施。 ・中心市街地の空き家は、敷地が狭く地価も高い一方、新興住宅地は若い世代から人気があり、市内唯一人口維持。 | ・地目にかかわらず <u>外部不経済の把握は、市民からの苦情等による連絡</u> |

1:耕作放棄地等の管理されない農地

注:自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

注:外部不経済の発生要因に着目して整理しており、例えば森林の管理放棄により農地への外部不経済が発生している場合も、管理放棄森林の項目に分類して整理している。



大月市周辺部の航空写真:写真撮影箇所位置図



写真1:中心市街地の空き家(大月地区内)
<窓の割れ、ベニヤ板での補強等あり>



写真2:農地の荒廃がモザイク状に発生(猿橋地区内)

2 . 文献調査結果の中間報告

外部不経済 文献まとめ(簡略版)(案)

既存文献によると、土地の管理放棄により様々な外部不経済が生じる場合がある。ただし、地域特性により生じる外部不経済は異なることに留意が必要。

| | 管理放棄農地 | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 | | その他 |
|-------|--|---|---|----------------------------------|--|
| | | | 空き家のみ | 空き家・空き地 | |
| 自然共生 | 農林業・人身被害 生物多様性の低下 景観悪化 植生回復の阻害 窒素化合物の流出 土壌・地下水の汚染 | 農林業・人身被害 生物多様性の低下 水資源量の低下 土壌の流出 土壌・地下水の汚染 | 人身・居住環境被害 生物多様性の低下 農作物被害・病原菌の感染 景観悪化 | 生物多様性の低下 衛生環境の悪化 土壌・地下水の汚染 | (ため池) 生物多様性の低下 |
| 防災・減災 | 降雨時の水流出増加 土砂崩壊の増加 土砂崩壊防止機能の低下 土の浸透能低下 事故の発生 | 水や土砂の流出の増加 家屋やインフラへの被害 倒木 森林火災の発生 | 人身・家屋・通行被害 停電・火災の発生 | 事故の発生 | (ため池) 決壊の危険性の増大 転落事故の危険性の増大 (ゴルフ場跡地) 降雨時の表土・土砂流出 |
| 地域づくり | 不法投棄への心理的抵抗の減少 観光や農林業への影響 文化的景観の消失の危機 集落という共同体の維持への支障 | 景観悪化 文化財の破損 | 人身・家屋被害 景観への影響 木造家屋の劣化 仏具の汚損 | 不法投棄への心理的抵抗の減少 | (ため池) 貯水量の減少 悪臭被害 |

：耕作放棄地等の管理されない農地

注：自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

外部不経済 文献まとめ(案)

既存文献によると、土地の管理放棄により様々な外部不経済が生じる場合がある。ただし、地域特性により生じる外部不経済は異なることに留意が必要。

| | 管理放棄農地 | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 | | その他 |
|------|---|--|--|---|---|
| | | | 空き家のみ | 空き家・空き地 | |
| 自然共生 | <p>鳥獣が隠れ場所や餌場として利用し分布域を拡大することによる農林業・人身被害、周辺植生への食害による生物多様性の低下 - 1,2,3</p> <p>耕作放棄地の存在による集落の景観悪化 - 4</p> <p>農地で草刈りが行われなくなり外来植物等が被度を増加させたことによる生物多様性の低下 - 5</p> <p>雑草が繁茂した見晴らしの悪い景観で、不法投棄された廃棄物の有害物質による土壌・地下水の汚染 - 8,9</p> | <p>管理不足で下層植生が発達した雑木林を鳥獣が隠れ場所や餌場として利用し分布域を拡大することによる農林業・人身被害、周辺植生への食害による生物多様性の低下 - 1,3</p> <p>再造林放棄地における、タケの侵入・優占、つる性植物の繁茂による植生回復の阻害 - 6</p> <p>森林皆伐域から河川水へと土壌が流出 - 7</p> <p>間伐による森林からの蒸発散量の抑制がなされず、利用可能な水資源量が低下 - 10</p> <p>二酸化炭素吸収機能の低下 - 11</p> <p>過密人工林内の劣悪な光環境下での下層植生衰退による公益的機能の低下 - 12,13,15</p> <p>管理が放棄された雑木林で、林床の光環境の悪化による生物多様性の低下 - 14</p> <p>里山林縁で放置された不法投棄廃棄物の有害物質による土壌・地下水の汚染 - 8,16</p> | <p>アライグマ等の中型獣類が空き家をすみかとして利用することによる人身・居住環境被害、生物多様性の低下(競合・捕食) - 17,18,19</p> <p>ネズミの侵入による農作物被害・病原菌の感染 - 20,21</p> <p>集落の景観悪化 - 21</p> | <p>他感作用をもつ外来植物の侵入・群落形成による生物多様性の低下 - 22</p> <p>雑草やその花粉・種子を利用するネズミ・ダニ等の発生による衛生環境の悪化 - 23,24</p> <p>雑草が繁茂した見晴らしの悪い景観で、不法投棄された廃棄物の有害物質による土壌・地下水の汚染 - 8,9</p> | <p>(ため池)水生植物の繁茂や水深・攪乱頻度の低下による生物多様性の低下 - 25</p> |

注:耕作放棄地等の管理されない農地

注:自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

外部不経済 文献まとめ(案)

既存文献によると、土地の管理放棄により様々な外部不経済が生じる場合がある。ただし、地域特性により生じる外部不経済は異なることに留意が必要。

| | 管理放棄農地 | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 | | その他 |
|----------|---|---|--|---|--|
| | | | 空き家のみ | 空き家・空き地 | |
| 防災 減災 | <p>水田の畦の損耗による 降雨時の水流出増加 - 26 放棄水田で土壌孔隙率 が大きくなり浸透量が増加 することによる不安定な地 下水の増大による土砂崩 壊の増加 - 27,28 枯れ草による火災や、 雑草が繁茂して見通しが 悪くなることによる事故の 発生 - 23</p> | <p>再造林放棄地で過密化したシカ の地表面踏み固めで土の浸透能 が低下し土砂流出が加速 - 2 再造林放棄地においてシカ食 害やタケ類・つる植物の侵入で植 生回復が阻害されることによる土 砂崩壊防止機能の低下 - 6 過密人工林で樹冠閉鎖により 日光が遮断され、下層植生が育た ず、雨水の浸透が妨げられ、地表 面で水や土砂の流出が増加 - 29 過密人工林において増加した 土石流により溪流沿いの樹木が 流木となり、河道閉塞、家屋やイ ンフラへの被害 - 29,30 過密人工林における周辺樹木 からの被圧による枯死、気象害等 に起因する倒木 - 31 下刈りや除伐が行われずスス キやシダの繁茂した林床からの森 林火災の発生 - 32</p> | <p>倒壊や建築資材の 飛散・剥落による人 身・家屋被害 - 21,33 周辺への立木はみ 出しによる通行被害 - 33 屋根からの落雪に よる歩行者等への人 身・通行被害 - 34 ネズミがケーブル・ ガス管にかじりつくこ とによる停電・火災の 発生 - 20,21</p> | <p>枯れ草による火災 や、雑草が繁茂して 見通しが悪くなるこ とによる事故の発生 - 23</p> | <p>(ため池)波浪 による浸食、漏 水による陥没、 ヘドロによる水路 の閉塞等で決壊 の危険性が増大 - 35 (ため池)堰堤 の除草が行われ なくなることによ る転落事故の危 険性の増大 - 25 (ゴルフ場跡 地)侵入したイノ シシの掘り返し による、降雨時 の表土・土砂流 出 - 36</p> |
| | | | | | |

：耕作放棄地等の管理されない農地

注：自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

外部不経済 文献まとめ(案)

既存文献によると、土地の管理放棄により様々な外部不経済が生じる場合がある。ただし、地域特性により生じる外部不経済は異なることに留意が必要。

| | 管理放棄農地 | 管理放棄森林 | 管理放棄宅地 | | その他 |
|-----|--|---|--|---|---|
| | | | 空き家のみ | 空き家・空き地 | |
| 地域へ | <p>雑草が繁茂した見晴らしの悪い景観で、不法投棄への心理的な抵抗が減少 - 9</p> <p>ニホンジカを主な宿主とするヤマビル・ダニ類の増加による観光や農林業への影響 - 1</p> <p>イネ科雑草地となった耕作放棄地に生育するカメムシ類が隣接する水田に侵入して起こる農業被害 - 37</p> <p>耕作放棄に伴う、農業に結びつく文化的景観の消失の危機 - 38,39</p> <p>耕作放棄により共同作業への参加者が減ることによる、集落という共同体の維持への支障 - 40</p> | <p>里山林縁に不法投棄された廃棄物による景観の悪化 - 16</p> <p>管理放棄された人工林で下草が生えず表層崩壊が発生し、砂利が斜面上部から流出することによる参詣道(文化財)の破損 - 41</p> | <p>不法侵入による犯罪助長、放火による人身・家屋被害 - 21</p> <p>観光資源である町並み景観への影響 - 42</p> <p>密閉状態で放置され高湿度状態が継続することによる伝統的な木造家屋の劣化 - 43</p> <p>人の気配がない社寺にすみついたアライグマによる仏具への汚損被害 - 44,45</p> | <p>雑草が繁茂した見晴らしの悪い景観で、不法投棄への心理的な抵抗が減少 - 9</p> | <p>(ため池)漏水の進行やヘドロ堆積による貯水量の減少 - 35</p> <p>(ため池)堆積したヘドロによる悪臭被害 - 35</p> |

：耕作放棄地等の管理されない農地

注：自然共生、防災・減災、地域づくりは事務局が便宜的に分類したが、複数の項目に該当する外部不経済も存在する。

外部不経済 文献まとめ(案)

根拠とした文献

1. 千葉県の上山における野生鳥獣の保護管理と生態系サービス(北澤哲弥、浅田正彦)
2. 再造林放棄地とニホンジカ、森林被害の火種(山根正伸)
3. 農村と都市・山地との境界領域で生じる軋轢と自然再生(岩崎巨典、栗田英治、嶺田拓也)
4. 中山間地域における耕作放棄地の景観に対する地域住民の評価に関する研究(柴田祐、佐藤彰人)
5. 水田畦畔法面の二次草原における管理放棄後の年数と種組成・種数との関係(松村俊和、武田義明)
6. 九州全域の再造林放棄地における侵食・崩壊および植生回復阻害の状況評価(加治佐剛ら)
7. 流域荒廃の影響を受ける閉鎖性海域の水環境(蛭間豊春)
8. 廃棄物不法投棄による汚染の修復と技術(川本克也、浦島邦子)
9. ゴミの不法投棄抑制と嫌悪感情(中俣友子、平野大二郎、阿部恒之)
10. 間伐が森林の水涵養機能に及ぼす影響(久保田多余子)
11. 地球温暖化の防止に関わる森林の機能(農林水産省農林水産技術会議)
12. 過密な針葉樹人工林に対する強度間伐が下層植生の多様性に与える影響(小谷二郎)
13. 人工林の間伐と下層植生の多様性(八坂通泰)
14. 信州の上山の特性把握と環境保全のために 1 上山の何が問題なのか - 上山問題の概観 - (畑中健一郎、富樫均、浜田崇、浦山佳恵)
15. 森林の水質保全機能の可能性 - 森林管理による窒素飽和の緩和に向けて - (渡邊未来)
16. 上山林縁に対するゴミの不法投棄(横山恭子、増田美砂)
17. 野生鳥獣被害防止マニュアル - アライグマ、ハクビシン、タヌキ、アナグマ - (中型獣類編)(農林水産省農村振興局)
18. アライグマ対策の課題(池田透)
19. 都市域における野生哺乳類との共存と生息環境の創出に対する住民の意識(園田陽一、倉本宣)
20. 家ネズミ類の生態・被害と防除(谷川力)
21. 空き家問題の法的課題と対応策(下村郁夫)
22. 住宅地の空地におけるヒメナガカメムシ幼虫の集団発生(中野敬一、坂巻正通、麻生実)
23. 非農耕地の雑草とその管理(伊藤操子)
24. 東京都港区の空地におけるミツユビナミハダニの集団発生(中野敬一)
25. ため池の管理放棄と改廃による水域生態系への影響: 人口減少で何が起きるか?(角田裕志)
26. 傾斜地半湿地地帯における耕作放棄水田の物理特性と豪雨への応答の検討(千葉克己、古賀潔、馬場秀和)
27. 中山間地における水田の耕作放棄が流出に及ぼす影響(吉村亜希子、石田憲治、渡嘉敷勝)
28. 農業の多面的機能を測る ~ 多面的機能に関する定量評価の事例 ~ (農林水産省)
29. 森林荒廃が洪水・河川環境に及ぼす影響の解明とモデル化(恩田裕一)
30. 土石流に伴う流木による災害とその防止軽減対策に関する考察(水原邦夫)
31. 過密人工林管理技術の開発(大矢信次郎、近藤道治)
32. 風害・森林火災軽減対策(独立行政法人森林総合研究所)
33. 空き家適正管理条例の法政策的論点(北村喜宣)
34. 市町村による特定空家の判断の手引き(北海道)
35. ため池応急整備の事例集(島根県農林水産部農村整備課・農地整備課、島根県土地改良事業団体連合会)
36. 余剰ゴルフ場の将来推計とその有効利用, 社会・環境影響に関する基礎的研究(齊藤修)
37. 雑草学の視点から害虫防除を考える: アカスジカスミカメ防除の事例から(稲垣栄洋)
38. 農業に関する文化的景観保護とその手法に関する研究(菊地淑人)
39. 集落域での耕作範囲の縮減過程における文化的景観のマネジメントに関する研究 - 果樹山地である愛媛県明浜町狩浜地区を対象として - (安楽あてね、後藤春彦、佐藤宏亮)
40. コモズの過少利用がもたらす生態系サービスの劣化(森野真理)
41. 人工林管理放棄が高野山参詣道の破損に与える影響(野村太郎、児玉康宏、寺本東吾、中島敦司)
42. 観光地の立地店舗における「ミュージアム化現象」の要因 - 「尾道傾斜地域」における古民家利用による複合店舗形成のメカニズム - (吉川浩)
43. 不在木造家屋の構造健全性維持のための保守管理に関する調査研究(向井洋一、藤平真紀子、田中瑛子)
44. 和歌山県の社寺におけるアライグマ被害の現状(宮下実、仲幸彦、藤吉圭二)
45. 文化財等の木造建造物へのアライグマ侵入実態(川道美枝子、川道武男、金田正人、加藤卓也)